

きずな

6月号(水無月)

赤磐市立山陽東小学校

一人ひとりに力をつける

「山陽東小学校の子どもたちは、あいさつがよくできますね。」とよく言われます。とてもうれしい言葉です。家庭であいさつの習慣をつけてくださり、学校で指導を続けてきた成果だと考えています。子どもたちが社会に出たときに、あいさつができるのは、重要な「生きる力」だと思うからです。

しかし、登校班では、地域の方に大きな声であいさつができるけれど、数人で下校しているときには、地域の方にあいさつができていない子どもに出会うこともあります。全体としてはがんばっているけれど、一人ひとりに、もう少し力をつけて、子どもたち全員が、あいさつができるようにしていきたいと考えています。

学校は、学年、学級、登校班などの、様々な集団を通して学ぶ場所です。学校でないと学べないことはたくさんありますし、お手本となる上級生の姿を見て、下級生が学ぶこともできます。しかし、学校には、集団を育てながら、一人ひとりの「個」を育てるという仕事もあります。一人ひとりの良さを認めつつ、もう少しがんばってほしいことを伝え、一緒にやっていくのです。例えば、あいさつが恥ずかしくてできない子どもには、一緒にあいさつをしたり、小さな声でもあいさつができたことを認めて、自信をつけたりしていきます。この経験は、「やったらできる。」「がんばった自分はすごい。」という子どもたちの自己肯定感の育成につながります。学校の日々の教育活動では見えにくい部分ですが、見えにくい部分こそを大切にしていきたいと考えています。

6月になりました。様々な校外活動が続きますが、子どもたちが自分自身の良さを発揮しつつ、新たな課題に挑戦する姿を楽しみにしています。(石原 順子)

<東小のそよ風②>いじめについて考える

6月は「いじめについて考える週間」があります。山陽東小学校でも、いじめは許しません。そのために、東小学校の子ども一人ひとりがいじめを許さない強い意志をもつこと、嫌なことをされたり言われたりして困っている子どもを見つけたら、素早く、徹底的に対応することを大切にしています。山陽東小学校でも「山陽東小学校いじめ対策基本方針」を作成し、対応ができるようにしています。今年は作成して3年目になりますので、見直しを行い、よりよくしていきたいと考えています。困っていることがあれば、すぐに、遠慮せずに、相談できる先生に声をかけてほしいです。

毎月第三日曜日は「家庭の日」
家族で過ごす時間が、楽しく充実
したものになるといいですね。